

Innovation

Innovation

M O R I K A Z U Y U K I

The Future of Mizuho City

我が決断 — 理想を追い続けて —

だれも三十年先のことを正確に予測することはできません。三十年前の自分が、現在の自分の姿を描いていたという人は少ないでしょう。

しかし、時間は確実に過ぎます。今日が明日になり、今月が来月になり、一年が三十年となります。人生とは有限であり、生まれた瞬間から、人間は時間に追われていると言ってもよいかもしれません。だからこそ、将来を予測し議論を重ねることは大いにすべきと考えます。

ただ、宇宙という無限の中で、自分という存在があることは統計的に奇跡です。自分の身体や意識は決して無意味な存在ではありません。実は、私たちは時間に追われているのではなく、時間という稀な資源を与えられたのです。

この与えられた時間をいかに有効的に使うか。それが理想です。

その理想を描くために、人間は想像力という素晴らしい才能にも恵まれました。

将来について不安を感じるのも、その想像力が働いているからです。

しかし、私たちの人生の最終的な結果は、皆、同じです。結果が同じであれば、不安を抱えるより、理想を持って、色々なことにチャレンジしていきたいと考えます。



人にやさしいまちづくり。
「健幸都市みずほ」
「経済成長、生産性の向上、
暮らしの安全」のためのインフラ整備。

瑞穂市市長

森かずゆき



岐阜県瑞穂市市長 森 和之

森和之後援会「瑞穂市の未来を創る会」
後援会長 関谷 均
〒501-0232 瑞穂市野田新田4125-5
Mail : kazuyuki.mori.mizuho@gmail.com



人にやさしいまちづくり 「健幸都市みずほ」



「経済成長、生産性の向上、暮らしの安全」のためのインフラ整備



私が考えるインフラ整備の主題

経済社会の急速なグローバル化の進展や環境問題への意識の高まりは、これまで人々が考えていたものの見方やイメージを大きく変容させています。経済活動のグローバル化は世界各地で、そこに住む人々が生み出してきたその地ならではの生活様式を均一化させ、どこでも同じように生活できることが当たり前のように、便利さと見た目のよさを追及する特徴のない時代に向かおうとしています。

自然環境が全く異なる国々が、グローバル化により同一の生活環境を目指そうとしても、必ず無理が生じ自然環境の破壊になりかねません。

また、想定を超える地震や台風、集中豪雨などの自然災害を目の当たりにすると、自然が依然として人や社会にいかに大きな力を及ぼしているのかを認めざるを得ません。

これまでのインフラ整備は、自然環境の破壊要因になっているとしばしば指摘されてきました。経済社会の発展と生活環境の全体の調和を求められる時代を迎えたインフラ整備は、ただ単に私達の生活を支えるためのものではなく、世界の課題を大きく改善できる可能性があります。

現在、国内においても経済のグローバル化や環境問題、人々の暮らしの向上のために多くの自治体がインフラ整備に取り組んでいます。

私は、人にやさしいまちづくりを「健幸都市みずほ」と掲げ、誰もが健康で生きがいを持ち、幸せに暮らせるまちづくりを進めてまいりました。

私たちの瑞穂市は未来からの預かりもの、インフラ整備は未来への投資と考えます。「経済成長、生産性の向上、暮らしの安全」のためインフラ整備を進める使命が私にはあります。

01



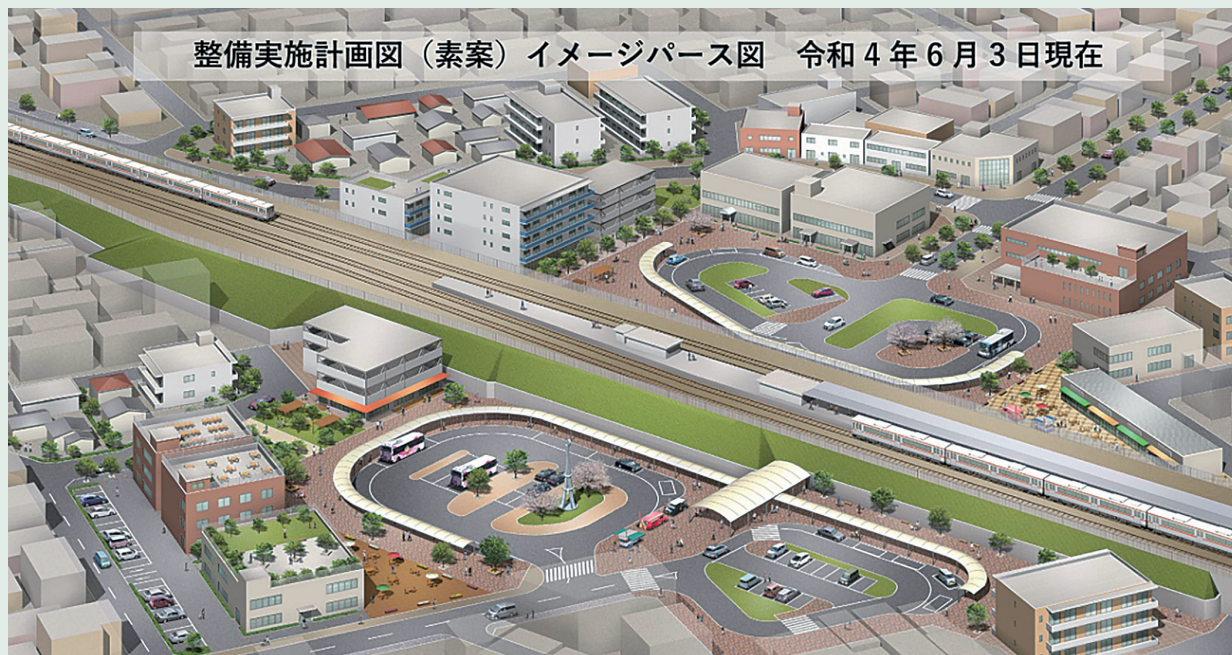
サンコーパレットパーク

中山道大月
多目的広場整備事業



- ・瑞穂市初のネーミングライツ事業を導入した公園が4月3日にオープン。
- ・子どもたちを対象に敷地面積約30,000㎡、芝生広場約11,000㎡、年齢別に3つの大型遊具を設置。
- ・瑞穂市発祥地である富有柿など特産品の販路拡大や「中山道まちづくり構想」の策定。

J R 穂積駅周辺整備事業



整備実施計画図（素案）イメージパース図 令和4年6月3日現在

※パースはイメージです。実際の整備とは異なる場合があります。

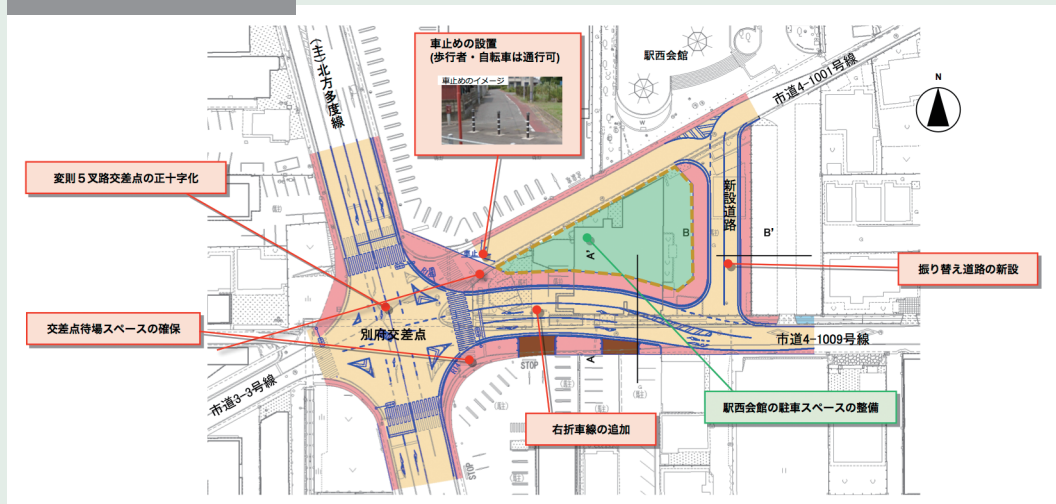
・瑞穂市の玄関口として、ふさわしい拠点とするために「JR穂積駅周辺整備基本計画」を策定し、活力ある駅前の創出と生活の利便性の向上による居住促進。

県道北方多度線 別府交差点改良事業

・変則の5差路を正十字の交差点へ改良し、穂積駅へのアクセス動線の整備。



■整備事業計画図



変則5差路交差点の正十字化

車止めの設置
(歩行者・自転車は通行可)
車止めのイメージ

振り替え道路の新設

交差点待機スペースの確保

別府交差点

市道4-1001号線

市道4-1008号線

市道3-3号線

右折車線の追加

駅西会館の駐車スペースの整備

ExSite サードプレイス (JAぎふ穂積支店跡地)の活用事業



広場スペース

・テナントショップ利用者の体験や交流等を促進
・地域活性化イベント等の開催

※イメージ図。実際の整備とは異なる場合があります。

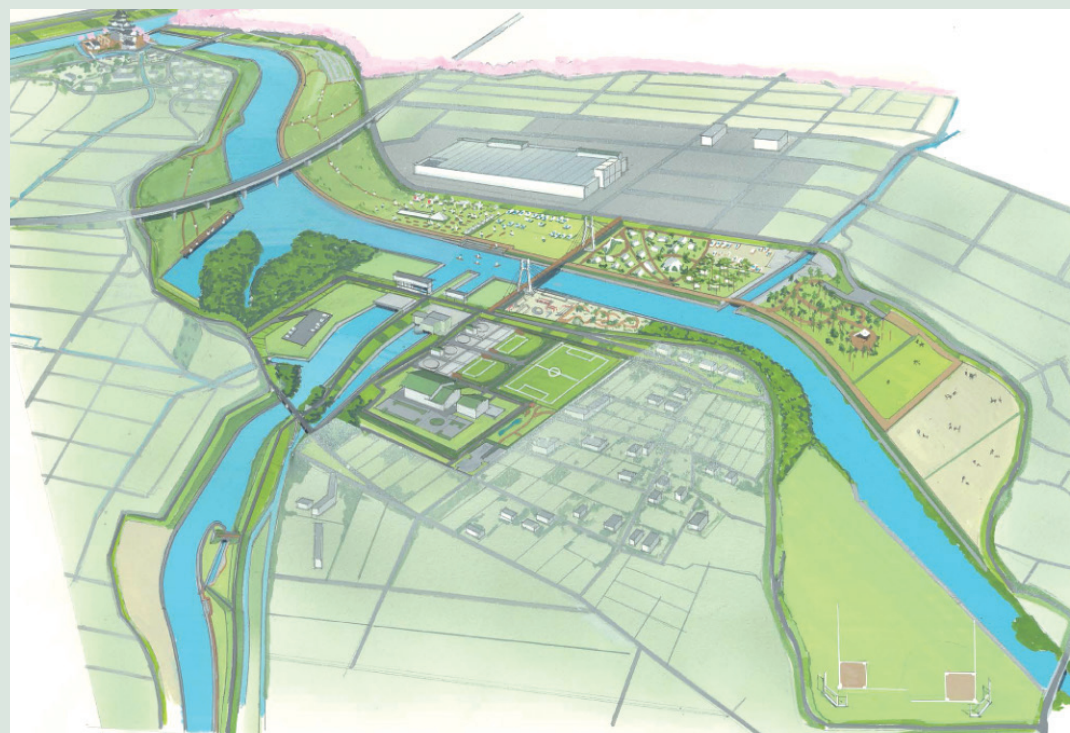
・駅前に人が集まり交流できる環境の整備と駅前広場の交通処理機能の向上。



03

The Future of
Mizuho City

犀川遊水地グリーンインフラ事業



※パースはイメージです。実際の整備とは異なる場合があります。

・地域の歴史・文化を継承し、自然豊かで良好な水辺空間の活用による賑わい、
「心豊かな暮らしへのアプローチ まちへの想い 瑞穂のミズベ」の創出。



03

The Future of
Mizuho City

公共下水道アクアパークみずほ整備事業



- ・持続的発展可能な地域社会の構築、循環型社会の構築、強靱な地域社会の構築には、
汚水・雨水管理の実施が必要不可欠。
- ・先導的官民連携事業(PPP・PFI 管路DB・処理場DB一括発注)の導入。
- ・「未来に届けたい 瑞穂のまちを潤す豊かな水環境を」の創出。

04

The Future of
Mizuho City

牛牧排水機場改修、牛牧樋門整備事業



- ・昭和56年から開始した犀川遊水地治水事業も牛牧排水機場改修、牛牧樋門整備
事業で完了。

05

The Future of Mizuho City

十九条牛牧遊水池整備事業



・治水対策は流域全体で行う流域治水へ転換、一時的に流域で雨水を貯留施設の整備。

07

The Future of Mizuho City

(仮)穂積ふれあい公園整備



・市民の安らぎと憩いをもたらす、良好な都市環境を創出するための公園整備。

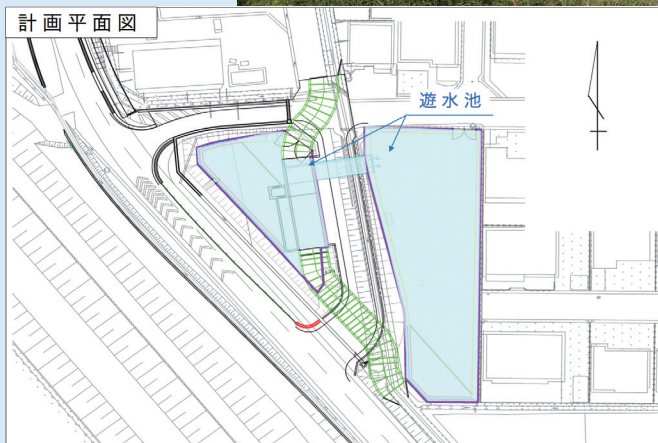
06

The Future of Mizuho City

古橋地内遊水池第1期整備事業



計画平面図



・近年激化する自然災害等から市街地の安全を確保するため、古橋地内に遊水池の整備。

08

The Future of Mizuho City

柳一色歩道橋整備事業



・中川に架かる柳一色橋を通行する歩行者・自転車通行者の安全を確保するため、歩道橋等の新設整備。

09

The Future of Mizuho City

(仮) 美江寺歩道橋整備事業



・犀川に架かる美江寺橋を通行する歩行者・自転車通行者の安全を確保するため、既存の橋に併設して歩道橋新設整備。

11

The Future of Mizuho City

中小学校大規模改修工事



・老朽化している学校施設を計画的に整備し、良好な教育環境の充実。

10

The Future of Mizuho City

牛牧第1保育所公私連携保育事業



・老朽化や待機児童解消するため、牛牧第1保育所を民間の力を借り、瑞穂市と連携した公私連携保育所整備事業。

12

The Future of Mizuho City

穂積中学校屋外運動場整備



・整備が遅れていた穂積中学校グラウンドの拡張整備。